

発行日 令和5年9月30日
 編集 座間市スポーツ推進委員協議会
 発行 座間市健康部スポーツ課
 住所 〒252-8566
 座間市緑ヶ丘1-1-1
 電話 046-252-8177
 F A X 046-255-3550

スポーツ推進委員 だより

座間市スポーツ推進委員協議会

カローリング教室

令和5年6月24日、スカイアリーナ座間にスポーツ推進委員が勢ぞろいしました。



まだ、コロナの不安が多少残る中でのニュースポーツ教室開催でしたが、参加した市民の皆さんと一緒にカローリングを楽しみました。

初めての方も、小さいお子さんも、経験のある方も、それぞれに一生懸命にジェットローラーをコントロールしたり、投

げる場所を変えたりと工夫して一心に的を狙って、何回も何回も投げていました。推進委員も少し忘れかけていたルールを思い出しながら

復習する良い機会となりました。推進委員と参加者の皆さんの笑い声でいっぱいの中、ケガもなく良い雰囲気

でカローリング教室を終えることが出来ました。今年、各種イベントが再開されます。機会がありましたら是非、皆さんも参加して色々とチャレンジしてみませんか。



ポッチャ教室

8月19日(土)、スカイアリーナ座間に多くの小学生やご家族にご参加いただきポッチャ教室を開催しました。

ポッチャは赤または青の革製のボールを投げ、より多くのボールをジャックボール(目標球・白)に近づけるかを競うスポーツです。

「年齢性別等に関係なく誰でも参加できる」「勝つための頭脳戦が楽しめる」「初参加の小学生でも審判ができるほどルールが簡単で覚えやすい」など、投げてよし・転がしてよしのポッチャを参加者の皆さん全員が笑顔で楽しんでいました。



安全に気軽に参加でき、そして健康増進にもなる「ポッチャ」を私たちと一緒に楽しみましょう。個人の方・ご家族・グループでのご参加をお待ちしております。



ポッチャは、年齢・性別・障がいのあるなしに関わらず、すべての人が一緒に競い合える楽しいスポーツです

スポーツ推進委員三市交流大会

9月9日(土) 座間市役所「ふれあい広場」にて、海老名市、綾瀬市、座間市の三市による「第37回スポーツ推進委員三市交流大会」を開催しました。今回の当番は座間市で、種目は「ウォークラリー」です。コマ図に従

い、途中で出題される課題を解決しながらゴールを目指し、「時間得点」と「課題得点」の合計で競います。競技を通して、素敵な景色を見ることができました。



た。こんな所があったのかと他市の方々にも喜んでいただけました。



気持ちのいい汗を流した後は「やまちゃん」のおいしい料理に舌鼓をうちながら、喉を潤し、健闘を称え合いました。成績発表では、見事に綾瀬市の優勝でした。最後には座

間市から来年度当番市である綾瀬市にヒゲダンスでエールを送り、三市の心が一つになり、温かく終わりました。

関東スポーツ推進委員研究大会



6月9日(金) 10日(土)、群馬県前橋市と富岡市で開催されました。開会式は前橋市のALSOKぐんま総合スポーツセンターアリーナで開催され、

表彰式とパネルディスカッションも行われました。橋本会長以下5名と事務局1名が参加しました。新型コロナウイルス感染拡大による活動の自粛などで久しぶりの研究大会が開催されました。



今回は、残念ながら座間市の表彰者はいませんでした。が、久しぶりの開催で他県の参加者も多く大変盛り上がりました。

関東各県のスポーツ推進委員が、地域スポーツの振興と各種のスポーツをより多くの方に経験していただき、生涯スポーツとして取り組んでいけるように、どのように指導したらよいかという諸問題についても情

報交換し、お互いの資質向上の場として頑張っていることを実感できました。参加したメンバーも今後、市民の皆様がスポーツに触れる機会を開催しようと、前橋市を堪能しながら研究大会と楽しい道中を行脚してきました。



これからの事業予定

【ニュースポーツ教室】

10月6日(金) 場所：市民体育館
【ニューフィールドゲーム】

11月11日(土) 場所：芹沢公園

【座間市民健康マラソン大会】

11月26日(日) 場所：相模川グラウンド周辺

【ソフトバレーボール大会(予定)】

1月20日(土) 場所：市民体育館

編集後記

今回は、スポーツではなく「ニュースポーツ」の話です。ニュースポーツとは、比較的新しく生まれたスポーツの種目であり、考え方です。それまでのスポーツが勝敗に重きを置き、練習を積み重ねれば試合などができなかつたのに対し、ニュースポーツは、「楽しむ」ことを主な目的とし、初心者や運動の苦手な人でも、すぐにゲームを楽しめることができることを特徴としています。例えば、「野球型」のスポーツで、バットで球を打つことが難しいければ、球を大きくしたり、バットをテニスラケットに変えたり、ボールをゴルフのように、ティーの上において打つなど、「難しさ」を排除し、徹底的に楽しむことを優先したスポーツなのです。ですから、試合に負けたからと言って、次の試合までに厳しい練習を積む、などということはしません。もちろん、練習することは、個人の自由ですが、大切なことは、体を動かすこと、の気持ちよさを感じたり、身近な仲間と楽しい時間を過ごしたりできること、なのだと思います。小さな子や、ご年配の方、障がいのある方などが混ざり合っており、同じスポーツを思いっきり楽しむことができたら、どんなに素敵だろう。私たちがスポーツ推進委員が目指しているのは、スポーツの世界です。ですから、私たちは、スポーツ推進委員ではなく、「ニュースポーツ推進委員」なのです。

編集担当(総務部)

有山 周一・高橋 廣・大矢 一雄
依田 玄基・野村 みさお・松崎 佳子
花城 愛子・小林 真・菅野 美恵子
窪田 晃子・池田 徳晴・山崎 哲